

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	歴史と社会						授業形態	講義	
科目コード	120230	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	新名 一仁								
授業概要	<p>「歴史学」には、「何のために学ぶのか?」、「実生活で何の役に立つのか?」といった疑問の声をよく聞く。確かにすぐに役に立つ「実学」とは異なるが、現代社会には前提となる歴史が存在する。現代社会は、歴史的経緯をふまえて形作られたものであり、そこに現れる諸課題も、歴史的背景をもつものが多い。特に、地域間格差・対立や国際関係・紛争は、歴史的経緯をふまえないと理解出来ず、また解決の糸口も見いだせない。また、かつての人々が、社会的課題にどう向き合い、どう克服していったのか、あるいは解決できなかったのかを知ることは、現代社会における諸課題への解決に向けて、さまざまなヒントを提供してくれる。</p> <p>本講義では、おもに前近代を対象に、社会が形成される過程と諸課題に人々がどう向き合ってきたのか、解説する。</p>								
関連する科目	歴史と現代								
授業の進め方 と方法	講義形式でおこなう。授業の終わりには毎時間10分位で感想や疑問点を書かせ、次にそれに答える形で理解を深めていく。また、講義中に適宜アンケートを行い、それぞれの認識の違い、理解度の違いにも柔軟に対応していく。								
授業計画 【第1回】	第1回 荘園とは何か?								
授業計画 【第2回】	第2回 島津荘と惟宗忠久								
授業計画 【第3回】	第3回 惟宗忠久とは何者か?								
授業計画 【第4回】	第4回 島津忠久をめぐる伝説とその流布								
授業計画 【第5回】	第5回 中世領主の一揆と家中の形成								
授業計画 【第6回】	第6回 近世の主君押込								
授業計画 【第7回】	第7回 室町期の対外関係と勘合貿易								
授業計画 【第8回】	第8回 日明勘合貿易研究の現在								
授業計画 【第9回】	第9回 中世の日琉・薩琉関係								
授業計画 【第10回】	第10回 島津家久の上洛-戦国時代の中央と地方-								
授業計画 【第11回】	第11回 『上井覚兼日記』にみる戦国武将の日常								

授業計画 【第12回】	第12回 『上井覚兼日記』にみる島津軍の戦い
授業計画 【第13回】	第13回 関ヶ原合戦の研究史
授業計画 【第14回】	第14回 関ヶ原合戦の新視点と島津氏の敵中突破
授業計画 【第15回】	第15回 「征韓論」と「遣韓論」明治六年朝鮮使節派遣問題の論点
授業の到達目標	1) 学術研究がどのように歴史叙述となっていくのかを理解する。 2) 歴史学における研究手法の基本を理解する。 3) 史料批判(史料的価値の判断)とは何かを理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	毎回講義の最後に次回で対象とする時代・内容を伝えるので、中学・高校時代の教科書を読んでおくか、図書館で概説書に目を通しておく(30分)。
授業時間外の学修 【復習】	毎講義後、配布資料や講義中のメモを読み返し、理解度を深める(30分)。
課題に対する フィードバック	
評価方法・基準	下記のみで評価する。 1) 講義ごとのミニレポート 50% 2) 期末試験(持ち込み可) 50%
テキスト	プリント配布
参考書	・ 中学教科書(社会)、高校教科書(日本史) ・ 『《新版県史》45. 宮崎県の歴史』(山川出版社、2015年) ・ 『《新版県史》46. 鹿児島県の歴史』(山川出版社、2016年)
備考	